

こんにちは!
日本共産党の

小山ゆりえです



デマンドバス実現に向け 北本市・加須市へ視察

選挙戦の中でデマンドバスの話をする、身を乗り出して聞いてくれた高齢の方、「是非、蓮田でも実現して下さい」と、多くの方から期待が寄せられました。

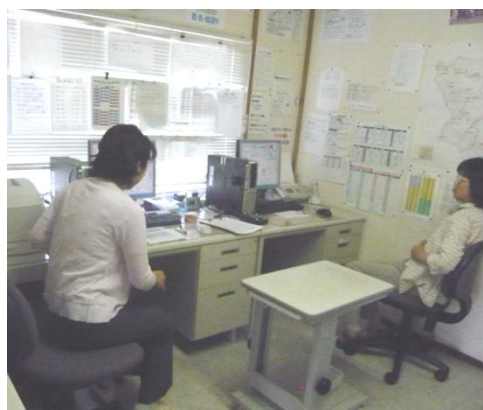
早速先日、日本共産党蓮田市議団は埼玉県内でデマンドバスを走らせている北本市と加須市（旧騎西町）へ視察に行ってきました。高齢者や交通不便地域のみなさんに非常に喜ばれているそうです。

蓮田市でも実現できるよう頑張らねばと決意を新たにしました。

（小山ゆりえ）



【加須市（旧騎西町）の「騎西ふれあいタクシー」】



【商店街の中にある予約受付センター】

	北本市	加須市（旧騎西町）
使用車種と台数	ワゴン車（8人乗り）2台 普通車（4人乗り）1台	ワゴン車（10人乗り）2台
運行時間	8:30~17:30	8:00~19:00
予約方法	電話（1時間前に）	電話（30分前までに）
利用料金	大人300円 小学生150円 障害者手帳等150円	大人300円 学生200円 小学生100円
乗降場所	自宅、決められた乗降場	自宅、病院、商店、公共施設等
70才以上利用者	58%	78.9%

（どちらの自治体も病院への利用が多くなっています）

黒浜沼周辺が「緑のトラスト保全地」に

一昨年に黒浜沼周辺が県の「さいたま緑のトラスト保全第11号地」に指定され、すぐれた自然環境や景観がそのままの形で後世に残される事が決まりました。土地は保全のために買収され、貴重な動植物が守られる事となり、地道に活動してきた関係者の努力が実りました。

小山議員は以前から自然を守る形での公園化を求めて市環境保全地域の指定や、地権者への助成を実現させてきました。今後も環境保全のために力を尽くしていきます。



〈部内資料〉

原発ゼロへ共産党が署名を開始

日本共産党は原子力発電から撤退すること、そのために原発をゼロにする期限を決めることを政府に提案しています。

原発の技術は本質的に未完成で、放射線を閉じ込めておく完全な技術は存在しません。世界有数の地震・津波国の日本で、どれほど深刻な問題になるかは今回の震災で明らかです。日本共産党が取り組んでいる「原発からの撤退を求める署名」にご協力下さい。

(蓮田市内の放射線量の測定結果が、インターネットの市のホームページで6月1日より公開されています。市内中学校5校と市役所で、地上1mで測定。市は新たに土壌用の測定器を購入します)

に、いつまでも残さなければと思っています。左の3枚は私の気になった写真ですが、カラーでないのと、サイズが小さいのが残念です。



わたしのホットにゆうす



【見沼たんぼと遠くに富士山が】



【江ヶ崎馬場のコスモスまつり会場】



【黒浜沼・ホテルの里のカワセミ】

四季折々の風景、花、動物など、黒浜地域は被写体に事欠きません。ここに住んで26年なりますが、最近カメラを持って歩きまわっていると、この地域の自然の豊かさを実感するとともに、

(江ヶ崎在住・金子)

不破さんの「原発講義」をDVDで観よう

不破さんが5月10日の「古典教室」でおこなった講義の一部。「毎日新聞」コラムでも、「日本の原発について歴史的、体系的に振り返り、なにしろわかりやすい」「一読をすすめたい」と絶賛された。

日時：7月3日(日)
10時～12時
場所：蓮田市図書館2F視聴覚室
(料金は無料です)

あとがき

蓮田市の後援会ニュース発行とともに、黒浜後援会ニュースを発行することになりました。第1号をお届けします。身近な問題や市政のこと、「ホットにゆうす」やみなさんから寄せられた声など、親しまれる紙面をと心がけていきます。どうぞよろしくお願いいたします。

